

第2回 みどり市立学校適正規模・適正配置笠懸地区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年10月16日(木) 午後7時00分～午後8時45分

○場 所 笠懸公民館 2階 サークル活動室2・3

○出席者

【みどり市立学校適正規模・適正配置笠懸地区検討委員会委員】13名

委員長	田口 和人
副委員長	近藤 博一
委員	坂本 光博
委員	小内 武明
委員	大月 亮
委員	藤生 彩香
委員	大舘 妙子
委員	春山 寛之
委員	増田 博司
委員	藤生 義道
委員	横山 美郷
委員	黒澤 寿一
委員	大澤 智

(欠席者) 1名 委員 津久井 麗華

【みどり市教育委員会】 9名

みどり市教育委員会	教育長	保志 守
みどり市教育部	部長	金高 吉宏
教育総務課	課長	今泉 源太郎
学校教育課	課長	神山 亮一
教育総務課	課長補佐	園原 裕一
学校教育課	課長補佐兼指導係長	知久 鉄平
大間々学校給食センター	所長	大賀 康史
教育総務課施設係	係長	大窪 進
学校教育課教職員係	管理主事	西村 晋一

【報道機関】 桐生タイムス社

【傍聴者】 なし

○議事の概要

1 開会〔開始：午後7時00分〕

2 委員長あいさつ

3 協議事項

・前回の協議内容の概要と今回の協議事項について、【当日配布資料1】に基づき、委員長から説明。

（1）笠懸町における学校適正規模・適正配置について

・【事前配布資料1～3、当日配布資料2－1，2－2】に基づき、事務局から説明。

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
議長（委員長）	事務局からの説明を受けて、ご意見やご質問があればお願いします。
委員1	資料のご用意をありがとうございます。笠懸町全体の子どもの人数の折れ線グラフを見ると、ここ15年くらいでだいたい100名くらい減っていると思います。この100名減は、市の見通しとしてはどのような見解でしょうか。これを持ち直したり維持したりする戦略があるのかないのか聞かせていただきたいです。また、子ども施策について、今年度から始めて目に見える効果のようなものがあつたのか教えていただきたいです。あと、この人数の推移で、4校を維持することが市にとって大きな負担になるのかならないのか見解を聞かせていただきたいです。
議長（委員長）	4校を維持するかどうかの問題については、あとのところで聞きますので、それ以外のところで事務局からお願いします。
事務局1	まず、みどり市の今後の戦略については、事務局からの説明にありましたように、子どもの人口増を見越した戦略として、「保育料・給食費の無償化」「学校の体育館のエアコン設置」があります。また、学校教育の中で行っていることとしますと、「英語検定料の助成」「教育支援員の手厚い配置」等、教育環境の整備も行っています。さらに、市全体の施策としても、「グリーンパークの整備」「道路の整備」「岩宿駅周辺の再開発」等、人口増を狙っての施策を行っています。その効果については、子どもの人数については表を見ると減っている傾向にあるということですが、その減り方については、近隣市町村と比べると減り具合は少ないと見ています。先日の市長の記者会見では、目に見えた人口増について成果が表れ始めているという報道発表がありました。今行っている子ども施策について、このあと少しずつ効果が見えてくるのではないかと考えています。市の負担について、4校だと3校に比べて負担が大きいといった考えはなく、この場での協議によって学校配置や教員の配置が決まっていくことになります。第1回の委員会でも、具体的な参考例として4校配置についてお示ししているところです。
議長（委員長）	他にご質問等がありますでしょうか。 それでは、子どもの人数の推移を含めて、笠懸地区の小学校を4校に維持す

	るのか、それとも3校にするのかについて検討していきたいと思います。前回の委員会では、委員2さんから、子どもが減るのであれば、4校を維持するのではなく、3校にして別のところに出資していくのはいかがでしょうかといったご意見がありました。このことについてあらためてお話をお願いします。
委員2	他の市話を聞くと、みどり市は女性や子どもに対して手厚い方だと思っています。前は、通学の負担を考えて4校にした方がいいのか、3校にして子どもたちの人数を多くした方がいいのかといった話があったかと思っています。少人数やクラスが少ない方が先生たちも目が届くと思います。人数が多いとワチャワチャするイメージがあります。また、国道50号も場所が変わる予定です。国道50号を渡らないようにすると、4校維持がいいのか、3校にするのがいいのか、難しいですね。
委員1	例えば、4校にして皆さんが徒歩で通えるようにする方法もあれば、太田の薮塚では新しい学校を作らずバスで送迎をしています。みどり市であれば、笠小の子どもを他の3つの小学校にバスで均等に送迎するといった方法も、一つの方法かと思っています。このまま子どもの人数が減っていく中で、4校を維持していく意義がちゃんとならないのであれば、こういった方法もあるのかと思っています。子どもの人数が維持・微増していく見通しがあるならば、4校配置も意味があるかと思っています。4校と3校では、どちらの方が笠懸地区に合っているのか、現場の方の意見を聞いてからでないと判断できないかと思っています。経済的な負担もそうだし、職員が不足しているといった現状もあるので、今の時代の問題を加味した上で、4校を維持していくことが大きな負担にならないか、先ほど質問させていただきました。
議長（委員長）	P T A会長さんはどのようにお考えですか。
委員3	小学生が一番成長が大きい時期だと思いますし、基礎体力を作らないといけない時期だと思います。3校になってバス通学になったとします。今までの子どもたちは暗くなるまで外で遊んでいましたが、今はテレビやゲームなどインドアで遊ぶ子どもが多いです。家の中で過ごすことが増えている中で、さらに登下校ですら徒歩で通わなくなるというところが親としては不安です。子どもたちは登下校の中で交通ルールを覚えたり、友達との関係を築いたりしています。さらに、体力の維持という部分でも、最低限動いてくれる時間が確保できると思うのですが、それらがなくなるのは少し心配ではあります。桐生や薮塚の保護者の方と話す中では、みどり市は圧倒的に子どもに対して優しい地域だと感じています。子育てしていく中でも、鹿田山公園の辺りが開拓されることでまた子どもの遊ぶ場所が増えたり。そういった取組をもっとわかりやすい形でPRしていくとよいと思います。私はP T Aで関わらせていただいているので、そういった情報が早い段階で入ってきます。でも普通の保護者の方は、他の地域より手厚く支援してもらっていることに気付いていない方もいます。みどり市外の方たちと話していると、「引っ越すなら、新しい家を建てるなら絶対みどり市がいいよ」という意見を聞きますが、そのPRの仕方がまだ弱いと思います。しっかりPRすることで人口の増加はもう少し狙っていけるのではないかと思います。みどり市の事業にも視野を広げてもらえると、学校を4校で

	維持していく中でも、それなりの人数を補っていけるようになると思います。時間はかかると思いますが、3校配置に反対というわけではありませんが、子どもにはできれば日光を浴びてほしいと思います。体育の授業も最近減ってきていると感じています。暑いと体育は外ではできませんから。そういったことも含めて、もう少し子どもが動ける環境を日常的に作れるといいなと一保護者として思います。
委員 4	第1回の会議で笠西小は新設でどうだったかという話が出たかと思いますが、私が聞く体感で言うと、小学校が新しいからといって、引っ越してみたいといった意見はほぼありません。私は普段子育てサロンをやっていて保護者の話を聞きますが、やっぱり今注目されているのがみどり市の子どもに対する施策です。先ほど事務局から報告があったとおり、子どもに対しての未来への投資ということで、そちらが評価されて人口増につながっているのかなと思っています。学校を新設して4校にするとしたとしても、そこに直接的な人口増は見込めないかなと思います。4校配置についても、笠懸小学校を南に移してバランス良くの4校配置なのか、それともバランスは既存のものを生かして笠小を改修しての長期使用となるかで話は変わってくるかと思っています。新しいものと言われるのは本当に最初だけ。新しい箱物を作ったからといって何か期待できるかということそうではないのかなと思います。 通学に関してのインフラの件で、バスを回すということもあると思いますが、最近の通学においては車での送り迎えをする親御さんが非常に増えています。もちろん徒歩が大前提で、中学生は自転車もありますが、バス通学の場合、乗り遅れると保護者が送っていかねばいけなくなります。3校配置に関しては、通学距離が長距離になって歩けない場合があるというデメリットが発生するので、そのときは親御さんの負担が増えてしまいます。そんなところが懸念されます。今は車で通うお子さんが非常に多いです。
委員 5	笠懸町全体の人口の推移は、おそらく日本全体の推移と同じで、なだらかに下降しているのだろうと思っています。そんな中で、最近のニュースだとふるさと納税等の工夫で人口が大きく増えている地域もあるようです。笠懸の4校を3校にするとすると、4校には4校なりのメリットとデメリットがあって、3校には3校なりのメリットとデメリットがあると思います。市として様々な施策を行っていますが、人口の増減について、斜面をなだらかにしていくのか、ふるさと納税等のように人口を大きく増やしていきたいのかによって、打っていく施策は変わっていくのかと思います。学校配置については、行政の方針とリンクさせていくのが合理的かと思います。
議長（委員長）	今話題としては、3校4校の問題が挙がっていますが、どちらを選択するかという前に、みどり市全体の施策がどんな方向性で動いているのかを確認しています。それが非常によい方向に向かおうとしていることを了解し、そこに期待をかけられるのであれば4校でよいのではないかと展開していくのかもかもしれません。ご意見いかがですか。
委員 6	前回の委員会では、笠小の校舎が築60年で耐久性がなくなるので、それを維持するのか、壊して3校にするのか、3校にした場合いろいろなことが間に

	合うのか、間に合わなければ南に新設するのか、そこを市がどう考えているのかだと思います。今の人数だと3校に入りきれないでしょう。10年後20年後は分からないけど、現状ではどうか。あとは耐久性が何年もつかですよ。直すならお金はかかるし。
議長（委員長）	基本方針の参考資料で、一つの案として、笠小を南に移してバランスをとるという方向性が示されています。
委員 6	移設するのであれば、今の笠小より小さい学校を南に作って4つにするのかと思います。前回も発言しましたが、笠北小も笠東小もだいぶ年数は経っていますから10年後20年後になったらまたそのとき考える時期が来るのではないかと思います。
議長（委員長）	直近的には、笠小のところが大きな問題になっているところです。他にご意見はいかがですか。
委員 7	私は前回も話したとおり、基本方針の参考資料に賛成です。笠小が老朽化しているので、南に移設して4校でバランス良く配置した方が、子どもの通学の面でもよいと思います。私も基本的には歩いて通学するのがよいと思っていますので。そのことを考えると、今の3校では距離的に難しいと思いますので、4校配置がよいと思います。みどり市ではいろいろと子ども施策を打っていますが、徐々に効いてきていると思います。自分の地元を見ていますと、どんどん世帯数が増えており、子どもも増えています。それを考えると、4校配置でバランスをとってもらった方がいいのではないかと思います。
副議長（副委員長）	令和13年の子どもの人数を見てよかったと思いました。新1年生が2クラスを確保できる人数です。学校の中のことを考えると、2クラスはほしいですね。1クラスだと1年から6年までずっと同じクラスで過ごすことになり、子どもにとっても負担が大きいです。できるならば2クラスを維持したいところです。笠小の老朽化について、もし仮に大きな地震があったときに、笠小の子どもたちが怪我なく過ごせるような状況がどこまで続くかということが1つのネックになってきます。そして、もし笠小がなくなったときに、3校になったとしても、1クラスになるよりは3校の方がよいと思います。大人の都合ではなく子どもにとって。1クラスではずっと同じ人間関係で進んでしまい、なかなか逆転が起こらなかったり、人間関係をリセットできなかつたりします。笠懸は2クラスが維持できる状況があるので、これが続くのであれば4校配置でもよいと思います。他の地域、例えば生品小学校の地域は、通学距離がかなり遠い子どものためにバスが1台用意されています。中学生になると自転車を通うようになるのでそれなりに運動量はカバーできると思いますが、どうしても広ければ通学バスを使わざるを得ないということになります。笠小の老朽化と合わせてどれだけ安全に学校に通わせられるか、見切りを付けるのであればどこで見切りを付けるのかによって、移設して4校にするのか3校にするのかという問題が出てくるのではないかと思います。また、笠北小も笠東小も老朽化してないわけではありません。どの学校も老朽化が進んでいることを頭に入れておく必要があるかと思います。私たちが考えることは、子どもが主人公なので、いい形で教育ができるようにしてやれるかということです。参考にしても

	らえたらと思います。
委員 8	今日のこの議論が、何年先の未来を見据えた話なのかで結論が変わるかと思っています。笠小の老朽化の視点で考えれば、改修するのか南に移すのか、そのタイミングの子どもたちの人数が3校では足りないのであれば4校必要だと思います。そうでなくてももう少し先、20年30年後の話をするのであれば、おそらく子どもの数は今よりもっと少なくなっていて、4校もいらぬという話になるかと思っています。目先の笠小の老朽化を踏まえた上での話なのか、それとももう少し先の未来を見据えての話なのかで、結論が変わるかと思っています。
委員 4	実際に笠懸小学校を改修して使うとなった場合に、今まで定期的な改修工事はしていたかと思いますが、耐用年数を迎えるに当たっての改修工事が行われることになるかと思っています。それを施工する際の笠小に通う子どもたちの扱いについてまだ話が出てきていないかと思っています。通学しながら部分部分を改修していくのか、それともその子たちの居場所を別に作る必要があるのか。笠懸町内において、施設の耐用年数を迎えて改修する学校は今までなかったと思うので、その工事規模によっては、工事期間中は子どもたちはどこに通えばよいのかという問題も出てくるとかと思っています。それとも、普通に通学してもらって大丈夫で、授業中に工事を行います、となるのか。これは、笠小に限ったことではなくて、笠北小や笠東小でも同じような議論が出てくるとかと思っています。工事の騒音の中で授業ができるのか、どこまでの改修をしなければならないのか、笠小をこれから先使っていけるのか。その状況によっては、新設しか道はないということになるかと思っています。
議長（委員長）	今回の適正配置問題に関わって、改修または移転の際の子どもたちの学習をどうするのかという話がポイントとして挙げられました。 そろそろ1つ目の協議事項については終わらせていただきたいと思います。 3校にするのか4校にするのかについては、4校の話が広がりましたが3校についてももう少し考えていく必要もあるかと思っています。
委員 1	学校教育課さんなどの現場感からするとどちらなのか、改修で行くのか4校をバランスよく配置するのか、どちらがよりよいと考えているのかということも重要なんじゃないかと思いますが。
委員 9	老朽化のところに焦点を当てる方が私はよいと思っています。最近、群馬県への移住が増えているという話を聞きます。実際に、移住してきて働くのは桐生市だけど住むのはみどり市笠懸町という人もいます。その理由には、桐生伊勢崎線が整備されるなどインフラが進んだこともあるかと思っています。子どもたちの人数に焦点を当てることも大事ですが、実際にそれを支えている保護者がどこに住みたいと思うのかも大事だと思うので、子どもが住みやすい町であることのアピールにもっと力を入れることによって、今みどり市が進めている計画がぶれずに、今後も継続して進めていく大義が立つのかなと思っています。
議長（委員長）	学校教育課の方から何かありますか。
事務局 1	確認をさせていただきます。この協議がどれくらい先のことを考えているのかというご意見がありましたが、基本方針のP13をご覧ください。笠懸小学校の老朽化の問題ですが、笠懸小学校は築年数55年で、目標使用年数が60

	年となっています。この目標使用年数が経ったから直ちに使用できなくなるという訳ではないですが、これがもとになって適正規模・適正配置の検討委員会が始まりました。そして、P38の「学校配置からの視点」には、「学校施設の目標使用年数の残年数を鑑み、改修等により目標使用年数の延長が見込めない状況であることが判断できる年度から5年をさかのぼる時期」とありますが、この時期がまさに今年度になります。つまり、このあと5年先を見通してこの協議を進めていただきたいということが基本的な考え方になります。そして、全体の検討委員会での参考案としてP40のような笠懸地区の適正配置の例を出させていただきます。
委員1	なかなかどちらがよいとは言えないということですね。分かりました。
議長（委員長）	それでは協議事項（1）につきましてはここで区切りたいと思います。

（2）給食提供方式について

- ・【当日配布資料3】に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
議長（委員長）	給食提供方式については、分かりやすい選択が迫られています。自校方式にするのかセンター方式にするのか。教育委員会としては、センター方式を勧めると提案しています。これについて皆さんからご意見を伺いたいと思います。 笠懸の現状は、笠西小以外は小中学校ともに自校方式です。笠西小はセンター方式をとっています。今後の方向性としては、全てセンター方式に切り替えることを提案しています。率直なところ、ご意見はいかがですか。
委員10	私は今年度から笠東小に勤務してまして、自校方式の給食をいただいています。前任校は大南小だったので、センター方式の給食をいただいていた。給食としては全く同じだと感じています。どちらも栄養バランスを考慮した安全でおいしい給食だと思いますし、比較が難しいくらい差はないと感じています。笠東小では自校方式なのでできたての給食になります。食缶は昔ながらの食缶ですが、できたてなので温かい給食がいただけています。大南小では、二重食缶で配送されますので、時間は経ちますが、温かいままいただけていました。 資料にある「食育の推進」の観点については、自校方式の優位点として、「匂いを感じる」「調理員との距離が近い」ということが示されています。確かに校舎を回っていると、4時間目にはいい匂いがしてきます。「給食の時間だ」と感じたり、卒業したときに思い出として残ったりすることはあるかもしれませんが、教育的な効果としては、それほど大きい要因にはならないような気がしています。「調理員さんとの距離が近い」ということについてですが、調理員さんは毎日給食室から外に出て、低学年の給食を大きなワゴンで教室前まで運んでくれています。もちろん挨拶はしますし、「この調理員さんが作ってくれているのか」と思う部分はあると思いますが、子どもたちと交流があるかというところほどないと感じます。

	それから、資料には「調理場内の見学を常に行える」とありますが、実際には調理場内には入れないんです。検便など健康チェックを十分している方ではないと中には入れません。私も入り口までは行けるのですが、中には入れません。なので、子どもたちの施設見学も実際には行えておらず、調理室の入り口に中の様子が分かる写真が掲示されているので、その写真を見えています。赴任する前は、1, 2年生でもっと見学が行われているのかと思っていましたが、実際には違うんだなと感じました。 自分の考えとしては、教育委員会からの説明の通り、いろいろなコスト面を考えると、センター方式で今の自校方式と同じ対応は十分可能であろうと思います。
議長（委員長）	給食を実際に食べるのは子どもたちです。PTA会長さんの中でお考えや聞いている意見をお伺いできればと思います。
委員 3	私自身、笠東小を卒業して、子どもたちも3人今お世話になっているので、自校方式しか知らないんです。子どもたちからは「給食のおばちゃん」というワードが日常的に出ていて、給食が近く感じられるし、作ってもらうことに感謝する心が育まれていると感じています。自分が子どもの時にもそう思っていたし、子どもたちがそう思っているということも日常的に感じています。センター方式に反対というわけではありませんし、温かい給食が出てきてそれをありがたういただけるという面はどちらも変わりはないと思います。ただ、やっぱり距離感が違うように感じてしまい、大人の私からするとお弁当に近いような感覚になってしまいます。多分自校方式しか知らないからだと思いますが。そういう面では、子どもが卒業するまでは自校方式が続いてくれるといいなと個人的な意見を持っています。
委員 4	私の子どもは少し特殊な例でして、笠小に行って、笠西小に行って、笠中に行ったので、自校、センター、自校という形で義務教育を歩いてきました。味に関しての問題は特に聞いていません。こっちの方が温かい、おいしいといったことは聞いていませんので、クオリティの部分では遜色ないくらいの品質を保っていると思います。ただ、自校方式とセンター方式では、味も含めて保護者の中で思うところがあるようです。なので、今年度からPTAとして学校と協力して、保護者向けの説明会や授業参観のときに、有償ではありますが、実際に給食を食べてみようということを企画しました。来月から保護者が給食を食べられる機会を設けて、給食への理解を深めてもらおうと思っています。実際に味わってもらって、何かあるのであれば言うてもらおうという形で、今後もそういった場を設けていきたいと思っています。今のところ否定的な意見はないかなと思います。
委員 8	笠北小は自校方式なので、私の子どもは給食室で作った給食を食べていますが、私は小中学校の9年間、給食センターで作っていた給食を食べていました。なので、私は自校方式の給食を知らないです。しかも30年以上前の話なので、おそらく今よりも冷めた給食を食べていたんだと思いますが、それしかなかったので否定的に思ったことはなかったです。給食センターのおじさんやおばさんが配達に来るので、配達に来た人たちが私にとっての給食のおじさんおばさ

	んでした。配達の際に話をしたり交流したりもできたし、給食センターの見学にも行きました。また、クラス単位で給食センターの方との交換ノートがあって、こんなものが食べたい、もっと増やしてほしいなどコメントを送ると返事が来るんです。そんなやりとりをしていたので、そんなに遠い存在ではなかったかと思います。
委員 5	自校方式優位になっている部分も工夫次第でセンター方式優位にできると思うので、センター方式に変えていくことに異論はないのですが、これはあくまでマクロの目線です。ミクロの目線で見ると、笠小は給食試食会があって、給食の先生と直接お話ができて、献立の工夫や注意点などを聞くことができます。その中で、昨今の物価高についての苦労ややりくり、信念や教示めいたものを聞いた身からすると、今やってくれている給食のおばさんたちとの関わり方を工夫する枠組みも一緒に検討してもらいたいなと思います。
議長（委員長）	給食提供方式についていかがでしょうか。ご自身の経験や聞いている話があれば伺いたいです。笠懸地区については、方式が変わることを教育委員会は提案しています。
委員 7	前にも自校方式がいいということで、いろいろあったとは聞いていますが、その根拠は何だろうかと思います。単純計算で1年間で9千万円違うわけですよ、予算的に。それだけのものがあれば、これだけ物価高になっている状況でより食材にもかけてあげられるし、他の教育予算にまわしていけるわけです。自校方式がよいという署名運動が起きたと聞いたことがありますが、これを知った上で起きたのか、その前段階で起きたのか、どういう理由で起きたのか聞いてみたいと思うくらいセンター方式の方がよいと思っています。
事務局 2	委員3さんがおっしゃったように、笠懸地区はずっと自校方式が続いていて、それが一つの文化として根付いていたところがあります。そこをセンター方式に変えるとなると、給食のおじさんおばさんのような愛着感はなくなってしまうのではないかとといったところを懸念されていました。自校方式のよさを確認してほしいという議会からの話がありましたので、センター方式にしてもそういったよさを取り入れた内容にしていきたいという話をさせていただきました。
議長（委員長）	笠懸地区はこれまで自校方式だったわけで、それがセンター方式に変わっていくところで、自校方式にこだわっている理由は何なのか。今日の話ではセンター方式もいいなという印象は受けます。
委員 3	他のお母さん方と話をする中で、笠懸地区はずっと地元にいる方が多いような気がします。なので、保護者の方も自校方式しか知らないという方が多いようです。確かに自校方式にもよさがあるので、外から来た人もなんとなく自校方式っていいよねとなり、そういった方たちが署名活動をしていました。私も署名を求められました。でもそういった方たちはセンター給食を食べたことがないんです。先日、笠東小で数年ぶりに給食の体験会で給食をいただきました。やっぱりいいなと確かに思ったんですけど、センター方式に移行していく流れがあるのであれば、センター方式の給食を食べる体験会をやってもらえると良いのではないかと思います。前にもあったと思いますが、役員さんが対象だっ

	たと思うので一般の方向けに。そういった機会があると、「自校方式もセンター方式も全然違う」という意見も少なくないのではないかと思います。そういったことが可能であれば、保護者の意見からセンター方式へ意見をまとめていくこともできると思います。私は食べてみたいです。
委員 6	私は笠西小の学校評議員を何年かやっています、給食は実際に食べさせてもらいました。結構おいしかったです。今は笠西小だけがセンター方式なので、子どもたちにアンケートをとってみてはどうかと思います。笠小の自校方式から笠西小のセンター方式に変わってどう感じているか。実際に食べている子どもたちに聞くのもよいと思います。
事務局 2	子どもたちに対しては、栄養士さんが、食育という観点で、給食センターで作ったものを運んでいることを話しています。そこで子どもたちに「どうですか」と意見を聞いています。その中では、「給食センターの給食もおいしい」「楽しみ」という意見が多いです。
委員 6	子どもは正直なもので、私の孫が笠西小に通っていますが、「おいしいよ」「おかわり食べるよ」と言っていました。
委員 3	反対意見を持っているのは多分保護者だと思います。子どもはどちらの給食を食べてもおいしいと言うと思います。
委員 8	笠北小周辺は、本当か分かりませんが、保護者よりも地域の方々が反対していると聞いたことがあります。何年か前にセンター方式と自校方式についての話が笠北小のPTAでも出て、そのときにそんな話を聞きました。だから、保護者がどうかということもあるかもしれないですけど、どちらかということ子どもが通っていないお家の住民からの反対がすごくあったと聞きました。
議長（委員長）	協議事項（2）につきましては、皆さんのご意見がセンター方式でいいのではないかという印象を受けました。ただ、委員 3 さんから具体的な提案もありました。今日のところはセンター方式に向きつつも、もう一度次回で確認するという位置付けで終わりにしたいと思います。

（３）他地区の検討委員会の協議を受けて

- ・大間々地区検討委員会で出された意見について、事務局から説明。
 - 大間々地区検討委員会で、大間々の小規模校化を笠懸が補うような形をとるのはどうか、というようなご意見をいただいた。
 - 大間々南小学校は児童数の減少から、全学年単学級で空き教室がいくつかある状況。
 - そこで、比較的規模の大きい笠懸町の小学校の児童で、大間々南小学校への通学を希望する児童がいればそれを認めていくという考え方。
 - 基本方針にある基準「片道４５分以内」「３km未満」の範囲であれば徒歩で、それより遠くなる場合はスクールバスで対応するという想定になるかと思う。
 - あるいは、笠懸町と大間々町を一体的に考えて学校区を見直し、笠懸町の北部の地域に住んでいる児童を大間々の小学校に通うようにするという考え方もある。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発 言 内 容
議長（委員長）	大間々地区でも検討委員会がありまして、そちらでも私が委員長を務めてい

	ます。今事務局から説明があったようなことが、ご意見としてありました。このご意見について、率直に思うところをお聞かせいただきたいと思います。
副議長（副委員長）	前年まで8区の区長でした。大東小の方が近いという住民は確かにいます。保護者の判断で、行きたいのであれば認めてもよいと思います。例えば、バスケットのクラブチームの友だちがいるから行きたいという考えもあるかもしれません。でも、笠北小の学区からだとは大南小より大東小の方が近いですね。また、8区が一番北だと笠西小に通うのに山を通らなくてはならないのですが、大東小だとまだ平地を通して通える感じがします。なので、そういった家庭で希望があれば、フリーで考えることはやぶさかではないと思います。例えば笠北小は、すぐ隣に天沼小学校があります。なので、天沼小の方が近いという方もいますし、天沼小の児童が笠北小に遊びに来ることもあります。距離的な近さの問題はもちろんありますが、そこは家庭の判断になると思います。太田市では、進学先の中学校に自分が入部したい部活動がない場合、その部活動がある中学校に行くことができます。そういったことも含めて、これからは柔軟に考えてもよいかと思います。
委員 8	今の話の方向性は、大間々の方に人を連れてきたいという背景からの話だと思いますが、逆もあるのかなと思います。大東小の児童が笠北小に行くこともあるかと。
委員 3	大東小と笠北小どちらも選べる地域の方は好きに選んでいいですよ、というふうにいずれなってしまうのではないかと思います。それでもよいと思いますが。逆にトレーニングのためにあえて遠くの小学校に通いたいという児童を伊勢崎市では認めている例もあるようです。ただ、限度なく、となってしまうと、みなさん好きな学校を選んでください、という方向になってしまうのかなと思います。
委員 1	そこまでするなら学区を取っ払ってしまっって、各学校で個性を出してもらってどこに行かせたいか選ぶのも一つの考えかと思います。また、帰る場所をどこにするのか、おじいちゃんおばあちゃんの家にするのか等、就学の際に悩むと思います。だから、そこまでするのであれば、全体でやってしまった方が思い切りがいいと思います。
委員 8	中学も同じ考えになるのでしょうか。
議長（委員長）	この辺りは学校選択制の問題ですね。
委員 3	いろんな意味で将来的には面白いと思います。この学校はスポーツに力を入れます、この学校は英語に力を入れます、といった形にして、好きな学校を選んでください、みどり市はフリーですよ、というのもそれはそれで将来的には面白いかなと思います。
委員 1	そこまで行ききらないと中途半端だと思います。あずま小中学校もそういった考えがあると思います。やっぱり通学時間はすごくかかると思うので。
議長（委員長）	群馬県では、かつて前橋市が学校選択制を行ったんです。途中で止めましたけれども。
委員 3	それは何で止めたのですか。
議長（委員長）	やはり小学校区を超えることで子どもたちの活動がバラバラになってしまう

	という話があります。また、長距離通学になるので安全の問題が出てきます。さらに、風評問題のようなものがあり、あの小学校には児童がたくさん集まるけどこの小学校は児童がとても少ない、というバランスになってしまったようです。ただ、学校選択制は前橋に限った話ではなく、東京都内でも行っています。ここでは一つの意見として、東町も含めたみどり市全体で学校選択制にするという考えが出たということですね。大間々地区検討委員会の協議を受けての本日の協議としては、大間々と笠懸の境目辺りを自由に考えてもいいのではないか、という考えが出たということで区切りたいと思います。
委員 1	決して笠懸にとってもたくさん子どもがいるというわけではないですよ。大間々と笠懸の比較の中だけの話だと思います。
委員 3	別に子どもたちを東にとられるとか大間々にとられるのが嫌という訳ではないです。
副議長（副委員長）	ただ、その子一人だけのためにスクールバスが動くなど、大きな動きがあるのはまずいと思います。
議長（委員長）	大間々地区からの協議については、今日のところはここまでにしておきたいと思います。

9 その他

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発 言 内 容
委員 1	先ほどの給食の話です。大間々地区は特に子どもが減っているという話でしたが、それに伴って給食センターの利用数も減っているのでしょうか。その数字がもらえると、センター方式にした方がいいかの判断材料になるかなと思います。もしできればいただきたいです。
議長（委員長）	この数字については、次回までに出してもらえと思います。

10 諸連絡

第3回委員会 日時 令和8年1月29日（木）19:00～
会場 笠懸公民館 2階 サークル活動室2・3

11 閉会